



早稲田大学ジャーナリズム大学院公開講義 — 来たれ、ジャーナリストを志す諸君 —

ジャーナリズム大学院(正式名称:早稲田大学大学院政治学研究科ジャーナリズムコース、
経済学研究科経済ジャーナリズムコース)では、下記の通り公開講義等を実施いたします。

普段のジャーナリズムコースにおける授業を垣間見る絶好の機会でもあり、
各回終了後には進学希望者の進学相談会も実施いたします。

現役のジャーナリストはもちろんのこと、ジャーナリストを志す皆様の参加を心からお待ちしております。

入場無料
申込み予約
不要

10/2 木

18:30~20:30

「調査報道の手法を学ぶ」 (設置科目「調査報道」公開講義)

ジャーナリストが独自の問題意識と取材・調査で政治・経済・社会に潜む構造的な問題を明らかにする調査報道が注目されています。
本公開講義では、調査報道の事例などをもとに、その具体的な手法を解説します。

■講師/ 瀬川至朗(ジャーナリズム大学院教授)・奥山俊宏(朝日新聞特別報道部)・澤康臣(共同通信特別報道室)・昨年度「調査報道」受講生(2名程度)
■会場/ 早稲田キャンパス3号館7階704教室

10/6 月

I部 16:30~18:00

II部 18:30~20:30

「沖縄の声に耳を傾ける!」 (設置科目「フィールドワーク」公開講義)

I部(16時30分~18時) Jスクール設置科目 「フィールドワーク」(沖縄にて実施)学生による沖縄取材の公開報告会
II部(18時30分~20時30分) 〈シンポジウム〉「沖縄とジャーナリズムのあり方を考える」

■講師/ 野中章弘(ジャーナリズム大学院教授)・金平茂紀(TBSキャスター/ジャーナリズム大学院客員教授)
島洋子(琉球新報東京支社)・大矢英代(琉球朝日放送/ジャーナリズム大学院3期生)
■会場/ 早稲田キャンパス27号館小野記念講堂

10/9 木

18:30~20:30

データ・ジャーナリズムのこれから (設置科目「オンラインジャーナリズム」公開講義)

「これからはデータ・ジャーナリズムの時代だ」という呼び声も、ブームが一巡して落ち着いてきたように思えます。
果たして、ジャーナリズムは世界に溢れるデータにどのように向き合い、物語を伝えていくべきなのでしょう。
この公開講義では、データを踏まえた報道のあり方、これからの展望について議論します。

■講師/ 田中幹人(ジャーナリズム大学院准教授)・石戸諭(毎日新聞デジタル報道センター)・大隈慎吾(毎日新聞世論調査室)
■会場/ 早稲田キャンパス27号館小野記念講堂

11/27 木

18:00~20:30

シンポジウム「米国NPOメディア CIRの挑戦 ~次世代のジャーナリズムを考察する」

米国最大のNPOメディアの代表を迎え、その先駆的事例から、次世代ジャーナリズムのあり方を考察します。

■講師/ 高橋恭子(ジャーナリズム大学院教授)・瀬川至朗(ジャーナリズム大学院教授)
ロバート・ローゼンタール(Center for Investigative Reporting(CIR))
角秀夫(NHK大型企画開発センター)・澤康臣(共同通信特別報道室) 他
■会場/ 早稲田キャンパス大隈小講堂

お問い合わせ先: 早稲田大学大学院政治学研究科

Tel: 03-3208-8534 (内線:71-3118) E-mail: gsps-office@list.waseda.jp

URL: <http://www.waseda-pse.jp/gsps/jp/> 交通アクセスURL: <http://www.waseda.jp/jp/campus/>